

特記仕様書（その2）

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三次市吉舎町矢井 ため池緊急整備（春田1号池）工事に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書（広島県）
 - ・土木工事共通仕様書（農林水産省構造改善局）
 - ・その他関連規格類
- 3 「広島県土木工事共通仕様書」1-1-24「土木工事検査技術基準」は「農業土木工事検査基準」に、又1-1-1「土木工事検査規程」は「農林漁業土木請負工事監督要領の運用について」に読み替える。

第2節 工事内容

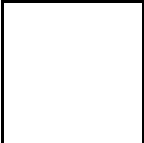
- 1 目的 この工事は、春田1号池の堤体部からの漏水を遮水するために行う。
- 2 工事概要
 - a) 孔深 地山線より-1.5mとする。
 - b) 別紙計算書より当初設計をするが、注入実績により変更する。
 - c) 孔配置 別紙計画図のとおり。

第3節 施工体制台帳

受注者は、別紙1（技術者台帳）を追加して施工体制台帳を作成し工事現場に備えるとともに、監督職員に提出するものとする。
なお、様式には、監理技術者、主任技術者（下請を含む）及び専門技術者の顔写真、氏名、生年月日、所属会社名を記載するものとする。
また、共通仕様書様式の工事業所災害防止協議会兼施行体系図に、下請会社の担当する工種の明記を徹底すること。

第4節 現場の管理

受注者は、工事現場内において、監理技術者、主任技術者（下請を含む）に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする（名札様式）

	監 理（主 任）技 術 者	
	氏 名	○ ○ ○ ○
	○ ○ 工 事	
	工期	自 ○ ○ 年 ○ ○ 月 ○ ○ 日 至 ○ ○ 年 ○ ○ 月 ○ ○ 日
	◇ ◇ 建設株式会社	
		印

- ・用紙の大きさは、名刺サイズ以上。
- ・印は所属会社の社印とする。
- ・写真のサイズは2cm×3cm程度とする。

第5節 施工体制等立入点検について

- 1 発注者は、受注者が工事の施工にあたり遵守しなければならない法令上の義務が適正に履行されているかの立入調査を行うことができる。
- 2 受注者は、発注者又は発注者の指名する者が工事現場、現場事務所又は営業所に立入調査を実施する場合はこれを受け入れなければならない。

第6節 検査 確認

受注者は監督職員が必要と認めて指示する作業段階ごとにその施工位置、施工状況等について監督職員の検査、確認を受けなくてはならない。またこの工事の中間検査時期は進捗率50%時点で1回行うものとする。

第2章 施工・管理

- 1 ボーリング位置及び測標の設置後監督職員の承認を受けて着工するものとする。
- 2 工事施工中受注者の不手際に起因する、数量増加等については、受注者の負担とする。
- 3 工事施工に当り、設計図面及び仕様書に疑義が生じた場合は、直ちに監督職員に申し出、その指示を受けなければならない。
- 4 施工方法、順序等については、予め監督職員と協議しなければならない。
- 5 削孔は、ロータリーボーリングマシンを用い、孔径は46mm以上とする。
削孔中は、漏水等に特に注意し、深度及び漏水程度について正確に記録し、監督職員と打合せしなければならない。また、削孔が所定の深度に達する毎に、監督職員の立会により検尺等を行うものとする。
- 6 グラウト注入
 - (1) 材料使用に当っては、監督職員の検収を受けなければならない。
 - (2) 注入圧の最高圧力は、概ね貯水圧の1.5倍とし、3kgf/cm²を限度とするが監督職員と協議の上決定する。
 - (3) 注入方法
 - 1) 自記流量圧力計を設置すること。
 - 2) 孔の最深部より開始し、FWLまで順次上方に向かってロッドを抜く、引抜工法とする。
 - 3) グラウト施工基準は、取り扱い基準による。
 - (4) グラウトの終了は監督職員の承認を受けなければならない。
- 7 六価クロム溶出試験
本工事は、「六価クロム溶出試験」の対象工事であり、下記に示す工種について、六価クロム溶出試験を実施し、試験結果(計量証明書)を提出するものとする。
なお、試験方法は、セメント及びセメント固化系材を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領によるものとする。
また、土質条件、施工条件により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。
配合設計段階において、六価クロムの溶出量が土壤環境基準を超えなかったセメント及びセメント系固化材を使用する場合、施工後の溶出試験を実施することを要しない。
ただし、火山灰質粘土を改良する場合は、配合設計段階の結果にかかわらず、施工後の溶出試験を実施するものとする。

六価クロム溶出試験対象工種名及び検体数： グラウト注入(堤体) 配合設計段階 1検体

第3章 報告書

報告書は以下のものを提出すること。その他の資料については、監督職員の指示により提出すること。

- (1) グラウト工事実績表
- (2) 使用材料集計表
- (3) 試錐日報
- (4) 土質断面柱状図
- (5) グラウト記録
- (6) 平面図・断面図
- (7) グラウト現場記録(チャート紙)
- (8) 現場記録写真

工事技術者台帳

元請会社名	
①監理技術者名	
生年月日	
【写真添付欄】	

会社名	
③主任技術者名	
生年月日	
専任 ・ 非専任	
【写真添付欄】	

会社名	
③主任技術者名	
生年月日	
専任 ・ 非専任	
【写真添付欄】	

会社名	
③主任技術者名	
生年月日	
専任 ・ 非専任	
【写真添付欄】	

会社名	
③主任技術者名	
生年月日	
専任 ・ 非専任	
【写真添付欄】	

【注意事項】

※添付する写真は、
縦 3cm
横 2.5cm
程度の大きさとし、
顔が判別できるものとする。

※番号は、施工体系図の番号
とする。

本様式は、2部作成し、
1部保管し、1部提出する。
ただし、カラーコピーの場合
は、カラーコピーを提出する。
また、デジカメ使用の場合は、
印刷したもので可とする。

会社名	
③主任技術者名	
生年月日	
専任 ・ 非専任	
【写真添付欄】	

会社名	
③主任技術者名	
生年月日	
専任 ・ 非専任	
【写真添付欄】	

会社名	
③主任技術者名	
生年月日	
専任 ・ 非専任	
【写真添付欄】	

会社名	
③主任技術者名	
生年月日	
専任 ・ 非専任	
【写真添付欄】	

会社名	
③主任技術者名	
生年月日	
専任 ・ 非専任	
【写真添付欄】	

会社名	
③主任技術者名	
生年月日	
専任 ・ 非専任	
【写真添付欄】	

会社名	
③主任技術者名	
生年月日	
専任 ・ 非専任	
【写真添付欄】	

会社名	
③主任技術者名	
生年月日	
専任 ・ 非専任	
【写真添付欄】	